

ふじ美が原

富士見中学校

特集：授業参観

学校と家庭で連携し

良さを活かして自分の道を拓く生徒へ

PTA総会でのあいさつ
大切にしていきたい
自他の良さの自覚と
自分を生かす道を考えること

学校長 高山和夫

本日は、ご多忙なところお集まりいただきありがとうございます。これほど多くの皆さんがお集まりいただいたのは三年間で初めてです。大変嬉しく思います。

さて、新年度も早ひと月近くが過ぎ、学校の生活も軌道に乗りつつあるところです。

本日の授業参観はいかがだったでしょうか？子どもたちは楽しそうに授業を受けていたでしょうか？

入学式では緊張気味であった一年生も、だんだんと仲間や学校に慣れ、元気な声が教室に響くようになってきました。朝、教室を回ると大変元気に挨拶をしてくれます。笑顔がとっても可愛らしいです。

また、二年生は、一つ下に後輩ができたためか、急に大きく見えるように感じます。昨日は生徒総会が行

われましたが、議事の中で多くの二年生が発言をしようと頑張っていました。その内容も、大変前向き・建設的なものが多く、成長ぶりに感心させられたところです。

また、四月一六日から三日間、一緒に修学旅行に行かせていただいた三年生の姿には、これも感心させられることがたくさんありました。

例えば、見学する態度です。ちょうど土日だったおかげで、多くの見学地が空いていたこともあり、展示物を大変丁寧に見学していました。中には熱心にメモを取っていた生徒さんもおりました。私も担任



時代、数多く修学旅行に参りましたが、国宝などの展示物なのに素通りしてしまう生徒さんも多かったのですが、本校の三年生はしっかりと見学していいなあと思いました。また、宿舎では、部屋やトイレのスリッパがきちんと整えられているなど、マナーや時間を守って行動している姿や係活動を丁寧にやっている姿にも感心させられました。

昨日の生徒総会でも、堂々と年間計画を発表したり、質問に答えたりする生徒会役員さんたちの姿、また、最初に体育館に入場して一二年生の入場を待っている姿の凛とした雰囲気などに、大変成長している様子を感じ、頼もしく思っております。ただいま紹介させていただいたような素晴らしい生徒さんたちが、さらに伸びていってくださるように、今後も、きめ細かく丁寧に一人一人を大切に支援・指導していけるよう職員一同全力を尽くす覚悟でおります。

特に本年度は、二つの具体的な生徒さんの姿を目標として設定し、職員一同取り組み始めています。その

一つ目は、「自他の良さに気づき、自信をもって自ら考え、自発的に行動する生徒」です。先ほど少しだけご紹介しましたように、本校の生徒さんたちには素晴らしい点や良さがたくさんありますが、どちらかといえば控えめな生徒さんが多いと感じています。もともとずっと自分たちの良さを自覚してもらい、自信をもって自ら発言したり行動したりして欲しいと願っています。

二つ目は、「自分を生かす進路を考え、その実現に向けて全力で取り組む生徒」です。2年前に本校に着任以来、生徒の皆さんには、夢をもつこととその実現のために全力を尽くす大切さを語り続けて参りましたが、今年は更に少しステップアップし、自分の能力や良さを生かせるような夢をもって欲しいと考え、昨年度以上にキャリア教育に力を入れていきたいと考えています。

さて、最近では、生活スタイルも多様化しており、生徒への指導が難しくなってきた面もあります。たとえばスマホやインターネットの利用について、多くのトラブルがあ

ちこちで取り上げられておりますが、本校でも決して人ごとではありませぬ。しかしこのことは、ご家庭の協力無しには指導が進められません。また、学力の向上という面から見ても、家庭学習の充実が取り上げられており、これもご家庭の協力が必要となります。

様々な面で、保護者の皆様のご協力をいただかねばなりません。が、「子どもたちのため」、「子どもたちの今と未来の幸せのため」という願いは同じです。どうか学校職員と心を合わせて指導・支援をいただきませうよろしく願います。

又、PTA活動では、直接学校や生徒たちにご支援いただくことになりませんが、一方で、学校職員との絆を太くするきっかけのひとつでもあります。役員の皆さんはもちろんですが、一般会員の皆さんも、学年・学級PTAはじめ多くのPTA活動が用意されておりますので、是非積極的にご参加いただきたいと思えます。どうぞ、よろしく願います。

話は変わりますが、あと三つほど

聞いてください。

一つ目。この二月に、生徒の皆さん、保護者の皆さんを対象に、学校評価のアンケートを採らせていただきました。ご協力いただき、ありがとうございます。さまざまご意見をいただきましたので、少しで本年度のご意見に答えられるよう本年度の学校運営を計画しております。

本年度も、年度途中で学校評価に関わるアンケートをお願いすることになるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。昨年度のアンケートとほぼ同じ内容で行う予定ではありますが、早めにアンケート内容をお知らせしたいと思えますので、お子さんたちの様子から、回答できるようにご準備いただければありがたいです。

なお、アンケートを待つ必要はございませんので、お気づきのことがありましたらいつでもお知らせください。ちなみに、**学校の相談窓口は、保健室の向井養護教諭と、職員室の小林教頭**となっておりますが、校長・担任他、学校職員誰にご連絡いただいても結構です。本校職員皆

精一杯対応させていただきます。

二つ目は、二学期制の導入についてです。昨年度まで本校は、前期・後期の二学期制をとっておりますが、長期休みを節目として、休み明けは新しい学期として気持ちを新たにスタートして欲しいという願いと、二つの学期にして短いスパンで教育活動を振り返ることによりよい学校づくりのために生かして欲しいという願いから、本年度より三学期制をとることにいたしました。ご了解ください。

三つ目は、本年度の学校体制についてです。それは、学級数に関することとそれに伴う教員配置数のことです。

実は、国の基準では、通常学級の一学級の構成人数は、四〇人までとなっています。従いまして、通常学級の人数が一二〇人の一学年と、一一人の二学年は、本来、どちらも本当ならば三学級の学年となります。しかし、「信州少人数教育推進事業」という長野県の施策で、三〇人規模学級編制が認められており、一〇六人以上の生徒さんがいれば

